

平成30年9月30日執行

菊陽町長選挙公報

菊陽町選挙管理委員会

平成の時を越えて

生活満足度No.1の菊陽町に!!



ごとう

後藤みつお

(現菊陽町長)

住みやすい安全・安心のまち

- ・防災広場および防災センターの整備
- ・避難施設として地区公民館の耐震補強
- ・防犯カメラの設置および交通安全施設整備

子育て支援充実のまち

- ・保育園民営化と子育て支援センターの整備で待機児童をゼロに
- ・中学生までの医療費を再無料化
- ・小中学校の体育館に空調設置

豊かな生活と成長を続けるまち

- ・空港線延伸の他産業道路生活道路の整備
- ・新しい工業団地整備と企業誘致の推進
- ・農地の集積集約を進め農業振興を図る

健康・福祉充実のまち

- ・総合体育館建設により健康づくりとスポーツ振興を充実
- ・高齢者の社会参加と健康づくりを促進

12年間の町政経験を活かし

新しい時代の住み良いまちを実現します



吉本たかし

(五十一歳)

菊陽町の扉を開ける「鍵」チェンジ

菊陽町は、二〇四〇年には人口五万人に近づきます。その先には、どのような景色があるのでしょうか。私は、その先を見据えて明確な目標を掲げ、町の皆さまと地域懇談会などで対話することにより、その目標を達成したいと思っております。

「住民の役にたつ場所」その意義を深く受け止め、役場の本質を問うことから始めます。

優秀な職員と一丸となり、市制実現のため前向きに取り組みます。また、若さと人脈を活かしトツプセールスを図ること、農業や企業のさらなる飛躍を目指します。

「人々が集える町」「人々が安心して住める町」「あらゆる可能性が実現できる町」それこそが私の目指す町づくりなのです。今まで通りの扉を開けるか、それとも「夢と希望に満ちた」新しい扉を開けるのか、皆さまでに「二つの鍵」を託します。菊陽町民の皆さまご自身が「町の未来をしっかりと描き、勇気と強い意志を、これからの菊陽の未来です。その先に見える景色が、さあ、チェンジ！」

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとって、くじで定めた順序により、縮小したものです。

※裏面もご覧ください。

投票日 9月30日(日) 午前7時～午後7時 この選挙公報をよく読んで、投票しましょう。